

経営改善計画（令和3（2021）～7（2025）年度）実績報告

【将来像】

コミュニティ振興、文化振興、伝統文化の保存・継承、施設運営を通して築く、心豊かで生きがい、活力にあふれる誇れるまち

1 区民ニーズに対応した事業運営

地域と密着した魅力的な事業を展開することで、地域コミュニティの活性化、次世代の育成、芸術文化の振興、地域の歴史・文化の有効活用に努めるとともに、新たな取組により、利用者満足度の向上、利用者数の増加、健全な財団運営を目指します。

(1) 魅力的な事業の展開

【目標】							
常日頃から事業内容のレベルアップを心がけるとともに、新規事業を企画するなど、満足度の高い、魅力的な事業を展開し続けることで利用者の拡大、増収に努めます。							
【指標1】事業満足度（単位：％）							
施設	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
地域文化施設	計画	--	93.5	94.0	94.5	95.0	95.0
	実績	95.1	91.8	93.5	93.1	94.0	94.9
公会堂	計画	--	91.0	92.0	93.0	94.0	95.0
	実績	89.2	89.8	97.9	90.2	93.6	96.0
歴史文化施設	計画	--	93.0	93.5	94.0	94.5	95.0
	実績	94.0	91.5	93.0	89.1	92.5	92.6
【成果・課題】							
● 年度により多少ばらつきはあるものの、概ね9割以上の高い評価を得ている。 ● webアンケートを開始するなど、各事業に関するアンケート結果を分析し、次年度以降の事業内容に反映させるなど、利用者満足度の向上に努めた。 ● 今後も、年齢・性別・国籍・障害の有無にかかわらず、誰でも参加できる魅力的な事業展開に努めていく必要がある。							

(2) 地域コミュニティの活性化

【目標】							
地域住民・団体、学校・企業等との連携・支援、財団各施設のネットワークを活かした事業を強化し、地域コミュニティを活性化させることで財団各施設の利用者数を増やします。 多種多様な講座を展開するとともに、学んだ知識を継続・発表できる場の創出、地域に還元できる仕組みをつくります。							
【指標2】協力・支援事業数（単位：件）							
施設	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
地域文化施設	計画	--	75	80	85	90	100
	実績	42	48	65	100	95	106
公会堂	計画	--	22	24	26	28	30
	実績	9	17	24	25	28	22
歴史文化施設	計画	--	12	14	16	18	20
	実績	4	11	11	22	23	16
合計	計画	--	109	118	127	136	150
	実績	55	76	100	147	146	144
【成果・課題】							
（地域文化） ● コロナ禍において事業自体が減少したが、収束後は順調に回復し、計画を上回る成果が出ている。 ● 地域の企業との連携も増えているが、協力・支援相手がやや固定化してきており、新たな連携先の開拓が必要である。							
（公会堂） ● コロナ禍後、区民団体活動の復調が見られ、コミュニティ活動が活発に行われている。 ● 令和6年度には、ティアラマンスリーコンサート250回記念コンサートを実現した。 ● 令和7年度は改修工事に伴う事業規模縮小により、実施事業が減少した。							
（歴史文化） ● コロナ禍を経て回復傾向はみられたものの、「そらまめ祭り」に代表される水辺にぎわい事業の開催見送りなどの影響が出ている。 ● 江東旧中川水彩パークとの連携強化、和船乗船体験への協力などにより、地域コミュニティの活性化を図る必要がある。							

(3) 次世代の育成

【目標】							
ティアラこうとうジュニアオーケストラ、ティアラ・ジュニアバレエ教室、江東少年少女合唱団など次世代育成事業を充実させ、将来の芸術文化の担い手を育成します。 幼い頃から芸術文化に触れる機会を提供することで地域の芸術文化普及に貢献するとともに、将来の施設利用者、事業参加者や指導者を育て利用率向上、収入増につなげます。							
【指標3】次世代育成事業参加者数（単位：人）							
施 設	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
地 域 文 化 施 設	計画	--	7,600	7,700	7,800	7,900	8,000
	実績	1,943	6,471	7,125	12,365	11,455	12,796
公 会 堂	計画	--	1,200	1,500	1,800	2,100	2,500
	実績	223	1,394	2,135	2,550	3,594	4,242
歴 史 文 化 施 設	計画	--	470	500	530	560	600
	実績	455	295	342	356	350	555
合 計	計画	--	9,270	9,700	10,130	10,560	11,100
	実績	2,621	8,160	9,602	15,271	15,399	17,593
【成果・課題】							
（地域文化） ● コロナ禍の収束後は、合唱団の団員数が100名を超えた。 ● 各館でこども対象の事業を企画し、芸術文化に触れる機会を増やしている。 ● 参加者数は順調に伸びている一方、職員の事務量も増加していることから、事業の内容や実施方法など、効率的・効果的な事業運営について検討する必要がある。							
（公会堂） ● ティアラこうとうジュニアオーケストラ、ティアラ・ジュニアバレエ教室の運営が順調に推移し、参加者数は安定している。 ● コロナ禍後、練習の成果を披露する舞台発表が増加したことにより、参加者が増加した。 ● こうとうジュニア音楽祭を新たに実施した。							
（歴史文化） ● 次世代育成事業の重要性を踏まえて、令和7年度は深川江戸資料館において新たに「寺子屋20××」及び「なりきり絵師」を開催した。 ● ジュニア向けトークショー、俳句関連事業、ワークショップなどを引き続き開催することで歴史・文化の継承に努めている。							

(4) 芸術文化の振興

【目標】							
より多くの区民が芸術文化活動に興味を持ち、気軽に参加・体験できる環境を整えることで、事業参加者数を増やし、入場料収入等の増収につなげます。 江東区民が舞台芸術に触れ、多くの芸術文化体験ができるように、区民ニーズに沿った舞台芸術を企画・誘致します。							
【指標4】主催・共催公演参加者数（単位：人）							
施 設	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
地 域 文 化 施 設	計画	--	26,000	28,000	30,000	31,000	32,000
	実績	8,089	16,669	19,247	34,087	42,720	32,408
公 会 堂	計画	--	25,000	41,000	44,000	48,000	50,000
	実績	8,035	28,665	45,296	41,842	72,117	59,560
合 計	計画	--	51,000	69,000	74,000	79,000	82,000
	実績	16,124	45,334	64,543	75,929	114,837	91,968
【成果・課題】							
（地域文化） ● 収支バランスを踏まえ、可能な限り低廉な入場料となるよう工夫を行っている。 ● 今後も公演ごとにアンケートを実施し、出演者の選定や内容について、地域住民のニーズを捉え、タイムリーなものとなるよう努めている。 ● 出演者や団体がやや固定化してきているので、新たな連携先の開拓が必要である。							
（公会堂） ● コロナ禍後、主催共催事業数が回復し事業参加者数が増加した。 ● 令和3年度は、ティアラこうとうプロデュース公演落語バレエを実施した。 ● 令和6年度は、国立劇場連携事業（歌舞伎鑑賞教室等）の実施により、大幅な増となっている。							

(5) 地域の歴史・文化の有効活用

【目標】							
地域への愛着を深められるような事業を行うことで、江東区の歴史や文化を広く継承し、来館者増を目指します。そのために、資料の収集・保管・活用を適切に行います。 観光拠点として、国内外から訪れる人たちの利用満足度を向上させるための取組を充実させます。 区民が地域の魅力を再発見できるよう、江東区の歴史や文化に関する様々な情報を積極的に発信します。							
【指標5】年間観覧者数（単位：人）							
	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
深川江戸資料館	計画	--	30,000	50,000	70,000	90,000	100,000
	実績	31,023	19,900	53,705	112,148	130,636	128,390
芭蕉記念館	計画	--	9,000	11,000	14,000	17,000	20,000
	実績	7,135	7,934	11,130	15,440	14,757	12,229
船番所資料館	計画	--	9,000	11,000	14,000	17,000	20,000
	実績	8,341	7,236	11,083	14,684	15,147	14,428
合 計	計画	--	48,000	72,000	98,000	124,000	140,000
	実績	46,499	35,070	75,918	142,272	160,540	155,047
【成果・課題】							
● 深川江戸資料館の触れる展示の強化や再生古地図タペストリーの設置、芭蕉記念館のまちあるき事業の充実、中川船番所資料館の企画展示室のレイアウト改善やロビー展示の開始など、新たな取組を実施した。 ● 日本文化に触れるイベント（折り紙体験）、食文化（和食）に触れる体験（江戸時代のお寿司再現）等、訪日外国人観光者向け各種サービスを充実させた。 ● 令和7年度は国際情勢の影響による一部の外国人観光客の減少などにより、各施設とも伸び悩む結果となった。							

(6) 新たな取組

【目標】							
動画配信による講義やイベントの開催を可能にするための環境整備に努めます。							
【指標6】動画配信視聴者数（単位：人）							
	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
動画配信視聴者数	計画	--	6,000	6,500	7,000	7,500	8,000
	実績	3,844	5,387	12,671	10,393	25,696	60,117
【成果・課題】							
（地域文化） ● 配信内容については、堅苦し過ぎないものにしつつ、更新頻度を上げる工夫をしている。 ● フォロワーの絶対数が少ないので、引き続きフォロワー数の増加に努める必要がある。							
（公会堂） ● 令和3～5年度において、くるみ割り人形公演について、有料動画配信を実施した。							
（歴史文化） ● 芭蕉記念館では全国時雨忌俳句大会表彰式の動画、中川船番所資料館では展示会や手話付き展示解説動画を配信している。							

2 地域に根差した施設運営

地域ごとのニーズを的確に把握し、施設運営に反映させることで各施設でのサービスと利用者満足度の向上を図ります。

(1) 安全・安心な施設の提供

【目標】							
誰もが気軽に立ち寄り、芸術文化に触れることのできる交流の場として、安全で安心して過ごせる文化施設を目指します。 公共施設管理者としての役割を発揮するため、大地震等災害時に安全な避難場所を提供します。							
【指標 7】施設利用の満足度（単位：％）							
	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
満 足 度	計画	--	88.0	89.0	90.0	91.0	92.0
	実績	87.0	86.0	88.2	90.0	91.0	91.0
【成果・課題】							
（地域文化） ● 毎年利用者アンケートを実施し、利用者ニーズを把握し、施設管理業務に反映させている。 ● 自衛消防訓練や自主避難所開設訓練等、毎回訓練内容を工夫して実施し、災害時の対応力向上に努めている。							
（公会堂） ● 施設貸出利用者アンケートの結果を踏まえ、より良い施設運営を行っている。 ● 令和4～6年度に避難訓練コンサートを実施し、災害時の避難誘導等、区民施設における役割と機能について再確認した。							
（歴史文化） ● 令和6年度に中川船番所資料館において、センサリーマップ（感覚が過敏な方が安心して観覧できるよう、光や音などの感覚情報を表したマップ）を導入した。							

(2) 利用者のニーズを捉えた施設運営

【目標】							
施設利用率向上のため、利用者のニーズを的確に把握し、施設運営に反映します。 利用者サービス、施設利用率の向上、業務の効率化のため、各種システムを改善します（ＩＣＴ活用）。							
【指標８】施設利用人数〈指標５の年間観覧者数を含む〉（単位：人）							
施設	区分	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
地域文化施設	計画	--	1,332,000	1,822,000	2,008,000	2,326,000	2,509,000
	実績	876,424	1,186,212	1,511,900	1,877,392	1,985,686	2,066,285
公会堂	計画	--	400,000	650,000	700,000	730,000	750,000
	実績	123,850	320,423	492,263	536,754	590,943	391,957
歴史文化施設	計画	--	149,000	177,000	284,000	324,000	354,000
	実績	113,438	84,902	190,354	313,980	369,910	359,395
合計	計画	--	1,881,000	2,649,000	2,992,000	3,380,000	3,613,000
	実績	1,113,712	1,591,537	2,194,517	2,728,126	2,946,539	2,817,637
【成果・課題】							
（地域文化） ● 利用者アンケートによりニーズを把握し、改善点を利用者へ周知するなど、フィードバックの成果が見える化している。 ● イベントチケットの支払いについてはキャッシュレスに対応しているが、施設利用料金や講座受講料についてもキャッシュレスに対応する（令和８年度導入予定）。							
（公会堂） ● コロナ禍後、施設貸出件数とともに施設利用人数も順調に回復傾向にある。 ● 動画配信に対応するため、大ホールに配信環境を整備した。 ● 令和７年度は、改修工事に伴う施設貸出中止により、施設利用人数が計画値を下回る結果となった。							
（歴史文化） ● 施設利用人数については、ここ数年いずれの施設も堅調である。 ● 観覧者数については、国際情勢の影響による一部の外国人観光客の減少などの影響を受けている。 ● 利用者ニーズや多様性への配慮に対応しながら、利用人数増に努める必要がある。							

3 財政基盤を強化する組織運営

事業のレベルアップと新たな取組により各種収入の増収を目指すとともに、経費節減に努めます。また、より質の高いサービス提供を限られた人員で推進するために、職員の育成に力を注ぎます。

(1) 積極的な収入確保と経費節減

【目標】							
国等の助成金を積極的に獲得するとともに、企業からの協賛金を獲得します。 利用料金収入確保のため、利用率の低い施設の有効活用等を図ります。 利用料金収入の算定基礎になっていることから、事業費・施設管理費等、運営経費全般の節減を徹底します。 令和2（2020）年度はコロナ禍においても徹底した感染拡大防止対策により施設の安全性を維持し、一定の利用料金収入を確保しました。今後も感染症拡大等の非常事態宣言発令中においても、安全・安心な施設運営を行い、創意工夫により安定した収入確保に努めます。							
【指標9】助成金・協賛金件数・金額（単位：件／千円）							
	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
件数	計画	--	35	36	38	39	40
	実績	21	36	49	34	24	27
金額	計画	--	19,400	18,900	20,600	19,900	25,000
	実績	9,697	21,342	22,989	9,786	11,235	4,981
【成果・課題】							
（地域文化・公会堂） ● 文化庁をはじめ、東京都歴史文化財団、民間企業等に助成金申請を行い、積極的な資金獲得を目指した。 ● 申請件数、実績額ともに計画値からは下回っているものの、新たに民間企業から複数年の協賛金を獲得した。 ● 地域企業等との協力・共催事業の実施により、経費削減に努めている。							
（歴史文化） ● 募金箱の設置、募金の活用は続けており、当該年度ごとに展示物の維持費、展示関連書籍の購入費などに活用している。							

注）歴史文化施設は、区からの受託事業という性質から、助成金については、観光庁は民間事業者、文化庁は保存会実行委員会等からの申請に限定されているため申請していない。

(2) 適正な人事管理

【目標】							
役割に応じた職員の適正配置、職層管理により、人件費の抑制に努めます。							
【指標10】主任数（単位：人）							
	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
主 任 数	計画	--	32	35	32	31	28
	実績	35	32	34	31	33	32
【成果・課題】							
● 職責や施設数に応じた職層管理を行っている。 ● 今後も持続可能な組織運営を踏まえた職員の適正配置、職層管理に努める必要がある。							

(3) 人材育成と職員能力の発揮

【目標】							
限られた職員で、より質の高いサービスを提供するため、各種研修やOJTなど積極的な人材育成に取り組めます。 組織活性化とサービス向上のため、職員が能力を最大限発揮できる職場環境整備に努めます。 定年退職後の職員についても、アドバイザーとして業務に協力してもらいます。							
【指標11】再雇用常勤嘱託員数（単位：人）							
	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
再 雇 用 数	計画	--	3	4	6	7	6
	実績	1	3	4	6	4	4
【成果・課題】							
● 再雇用常勤嘱託員については、定年退職後も経験を活かした職務を担っている。 ● 長年にわたる事業実績の上に構築したノウハウを若い世代にも継承するため、今後も創意工夫を凝らした育成に努める必要がある。							

(4) 利用者増に向けた広報活動の強化

【目標】							
サービス向上と利用者数増加を目指して、必要とされる情報を分かりやすくタイムリーに届けられるように広報活動を強化することで、新たな利用者層を開拓します。							
【指標12】 ホームページ閲覧数（単位：回）							
	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
閲覧数	計画	--	4,500,000	4,800,000	5,000,000	5,100,000	5,100,000
	実績	3,578,165	4,348,645	5,112,804	6,224,168	7,471,702	6,387,945
【成果・課題】							
- 令和5年4月から3年間の広報推進ガイドラインを策定し、ホームページの他、各種SNSによる情報発信を行う等、広報強化に努めた。 - 江東公会堂のリニューアルなどを踏まえ、第5期指定管理期間では、積極的な広報戦略を策定し、推進していく必要がある。							

4 評価及び実現に向けた取組

本計画（第4期指定管理期間）は、コロナ禍の最中にスタートし、各指標について、当初は計画値を下回るものが見受けられた。

しかしながら、コロナの収束とともに復調傾向となり、計画最終年度においては、12の管理指標のうち「施設利用人数」及び「助成金・協賛金件数・金額」については、「やや不十分」であったものの、その他の項目では、達成または概ね達成という結果となり、着実に成果を上げることができたものと評価している。

令和8年度からの第5期指定管理期間においては、新たに策定した「経営計画・事業計画」に基づき、「包摂社会実現への取組」「連携・共生事業の実施」「満足度向上への取組」を重点事業として5年間の横断的な取組と位置づけ、「地域コミュニティの活性化」「次世代育成」「芸術文化の振興」「歴史・文化の継承」等を柱に多彩な事業運営に取り組むとともに、「安全・安心」で「環境・多様性」へ配慮した施設運営や持続可能な団体を目指した組織運営を行っていく。